

令和2年8月18日

嬉野市長 村上大祐 様

嬉野市議会議長 田中政司

新型コロナウイルス感染症に関する要望書

新型コロナウイルス感染症については、国の緊急事態宣言は解除されたものの、本市においても感染者が確認されるなど、いまだ予断を許さない事態が続いています。

市当局においては、特別定額給付金の迅速な給付対応、事業者等への各種支援給付金の創設、地場産品を活用した経済対策の実施など、様々な対策を講じ尽力いただいているところです。

嬉野市議会はこれらの状況を鑑み、今後の施策の参考とするため市内の各種団体との意見交換会を開催いたしました。

つきましては、新型コロナウイルスから市民の生命と健康を守り、一刻も早く市民生活の安寧と経済の回復・再生が図られるよう、別紙の意見交換会の内容を市民の声として受け止め、積極的な措置を講じられるよう要望いたします。

嬉野温泉商店街協同組合との意見交換会

総務企画常任委員会

開催日 令和2年7月20日

参加者

嬉野温泉商店街協同組合 11名

総務企画常任委員会 6名

テーマ:新型コロナウイルスの影響等について

(1) コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて

- 国・県・市等の給付金及び支援制度は有難かったが、まだまだ厳しい現状は変わらない。
- これまでの市独自の支援策において、緊急措置的な意味合いを持つことは理解しながらも、〇inうれしのでの「コトクーポン」、「モノクーポン」等の利用しづらさ、旅館及び商店街各店舗での説明のわずらわしさ等で利用されないお客様が多かった。支援は有難いが、現場やお客様ニーズとはかけ離れているように感じた。

(2) 今後の対策等について

- 地域経済、市中の購買も縮小される中、市民向けの商品券配布、市民や地元事業者間での地産地消の推進等地元で支え合う施策が欲しい。
- コロナ禍の中、商店街協同組合だけでなく様々な団体や組合等と一致団結して、お客様を呼び込む仕掛けづくりをすべく、業界の枠を超えた話し合いの機会を持つべく取りまとめてほしい。
- 市が行う支援策は有難いが、現場やお客様のニーズとかけ離れていては無駄になる。最大限効果を高めるためには現場の意見聴取、協議を踏まえ、実施方法等を共に考えていくという形をとっていただきたい。

嬉野温泉旅館組合との意見交換会

総務企画常任委員会

開催日 令和2年7月30日

参加者

嬉野温泉旅館組合 9名

総務企画常任委員会 6名

テーマ:新型コロナウイルスの影響等について

(1) コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて

○全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加していく中GoToキャンペーンについては思ったほどの効果はない。一方で○in うれしのは、効果的で即効性もあり、マイクツーリズムの可能性を感じた。

県の佐賀牛等が抽選で当たるキャンペーンは効果がない。

(2) 今後の対策等について

○今後旅行の形態が大きく変わり団体客の誘客は見込めず、個人客中心とした旅館の在り方が必要になり、ハード面の設備投資が必要になる。合わせて設備廃棄ということも考慮しながらの支援策をお願いしたい。

○市は近隣市町と連携し観光周遊キャンペーンを考えているが、このコロナ禍においてお客様の行動は旅館及び近くでゆっくり過ごしたいという安心感のある旅行になっている。観光周遊よりも平日の宿泊キャンペーン等に力を入れてほしい。

○キャンペーン、クーポン事業はお客様も、受け入れ側も、すごく簡単で分かりやすい形で施行してほしい。また行政には現場の声をたくさん聴いてもらい、事業をするにあたり生の声を役立ててほしい。

○景気の停滞が今後も続くと予測される中、半年後、1年後からの税金、借入金の猶予期間が終わり支払いが始まる。現在も大切だが将来的な不安解消のための施策も視野に入れていただきたい。

また、国の雇用調整助成金延長への要望をお願いしたい。

○今後とも定期的にこのような意見交換会の場を市にも議会にも設けてほしい。

民生委員児童委員協議会との意見交換会

文教福祉常任委員会

開催日 令和2年8月11日

参加者

民生委員児童委員協議会	7名
市民福祉部	3名
文教福祉常任委員会	5名

テーマ:新型コロナウイルス感染症の影響および関連する事案等について

- 全国民生委員児童委員連合会から、感染予防のため訪問を控えるよう通達があり、現況ではできるだけ訪問を控え電話で連絡を取っているが、顔の様子や生活の実情は判りにくい。訪問し、見て、聞いて、話をするという活動そのものへの大きな障壁になっている。
- 国の「特別定額給付金」受給についてはそれぞれのお子さんや親族の方の手助けで申請手続きをされた方がほとんどであったが、高齢者が手続きをする際に不便な点は、通帳のコピーを準備するだけでも難しいということで、申請手続きはお年寄りだけのご家族は大変だと感じた。
- 新型コロナウイルス感染症に特に敏感になっておられ、買い物には人が少ない時間帯に行かれていることも分かった。

今後求められる対策等について

訪問の自粛で、接して会うという基本的な活動への大きな障壁になっていることから、対応は電話での健康確認が中心になるが、家の外から洗濯物の状況確認や対象者の隣近所の方への見守りの依頼などの工夫も求められる。

また、今後は、より一層、行政や医療関係機関との連携が必要であり、民生委員児童委員に限らず地域住民の誰もが支えあう共生社会の実現が不可欠と考える。

嬉野温泉料飲店組合との意見交換会

産業建設常任委員会

開催日 令和2年8月4日

参加者

嬉野温泉料飲店組合 14名

産業建設常任委員会 5名

テーマ:新型コロナウイルスの影響等について

(1) コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて

- 雇用調整助成金の手続きが大変であった。書類が煩雑であるのを簡素化して欲しい。特にシフト表についてわかりやすい簡単な様式にしていきたい。
- タクシーが2台程しか稼動しておらず、深夜12時には受付もして貰えないので、せめて深夜12時頃までは営業を行って貰いたい。
- 風評被害を受ければ営業ができなくなり、店が潰れてしまう。SNS等で感染者を突き止めたりしているが、このようなことをしない解決策はないか。
- 来店された方が、咳をされたりすると店側のスタッフは大変不安になる。誰でもがPCR検査を受けられる体制づくりをお願いしたい。

(2) 今後の対策等について

- 換気をしながら営業をしないといけないが、一部のスナックは換気する窓もない店もある。厨房には小さな換気扇はあるが対応できていない。高機能換気扇等の設備改修の補助をお願いしたい。
- 今後も新型コロナウイルスの影響はしばらく続くと思われるので、客との間に間仕切り用のアクリル板(パーティション)等に掛かる補助をお願いしたい。
- 「新型コロナウイルス感染症関連の支援制度の広報については、ホームページをご覧ください。」だけでなく、回覧板や新聞紙面などアナログ的な方法での周知もお願いしたい。
- 商店街の空き店舗活用について、市内住居者にも適用するようにして貰いたい。商店街から離れて店舗を出している方が、商店街に移れると、空き店舗も減り、これまで以上に賑わいもできると思う。

佐賀県農業協同組合との意見交換会

産業建設常任委員会

開催日 令和2年8月5日

参加者

佐賀県農業協同組合 8名

産業建設常任委員会 5名

テーマ:新型コロナウイルスの影響等について

(1) コロナ後の現状や国・県・市等の支援制度を受けて

○うれしの茶生産向上対策事業は助かった。今後の継続を望む。

○大学や有識者等と連携して、うれしの茶の健康飲料水としての効果の検証を行い、有効性の証明書の確保に取り組んで貰いたい。

(2) 今後の対策等について

○各種交付金の説明を分かりやすくして貰いたい。良く理解できない農家が多い。

○キャンペーンで行なわれたウキウキパック等をお歳暮シーズンなどにも取り組んで貰いたい。畜産農家は特に助かった。